

*出力条件
*会計年度：R4
*出力帳票選択：財務書類
*団体区分：連結
*団体／会計コード：
*出力範囲：年次
*出力金額単位：千円

貸借対照表
(令和5年3月31日現在)

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	55,936,785	固定負債	23,375,752
有形固定資産	52,470,730	地方債	15,287,856
事業用資産	17,302,557	長期未払金	0
土地	5,918,823	退職手当引当金	2,233,229
立木竹	0	損失補償等引当金	0
建物	24,671,501	その他	5,854,666
建物減価償却累計額	△ 14,901,561	流動負債	2,129,291
工作物	2,875,598	1年内償還予定地方債	1,903,331
工作物減価償却累計額	△ 1,407,749	未払金	65,826
船舶	0	未払費用	0
船舶減価償却累計額	0	前受金	300
浮標等	0	前受収益	0
浮標等減価償却累計額	0	賞与等引当金	141,391
航空機	0	預り金	16,741
航空機減価償却累計額	0	その他	1,703
その他	0		
その他減価償却累計額	0	負債合計	25,505,043
建設仮勘定	145,944		
インフラ資産	34,304,562	【純資産の部】	
土地	12,112,743	固定資産等形成分	58,016,681
建物	530,219	余剰分(不足分)	△ 23,521,113
建物減価償却累計額	△ 241,342		
工作物	55,424,650		
工作物減価償却累計額	△ 33,707,014		
その他	0		
その他減価償却累計額	0		
建設仮勘定	185,307		
物品	3,783,539		
物品減価償却累計額	△ 2,919,929		
無形固定資産	1,077,436		
ソフトウェア	10,826		
その他	1,066,609		
投資その他の資産	2,388,619		
投資及び出資金	16,845		
有価証券	0		
出資金	16,845		
その他	0		
投資損失引当金	0		
長期延滞債権	217,666		
長期貸付金	1,478		
基金	2,164,126		
減債基金	211		
その他	2,163,915		
その他	31		
徴収不能引当金	△ 11,527		
流動資産	4,063,827		
現金預金	1,863,460		
未収金	91,205		
短期貸付金	4		
基金	2,079,893		
財政調整基金	2,006,356		
減債基金	73,537		
棚卸資産	27,246		
その他	2,700		
徴収不能引当金	△ 681		
資産合計	60,000,611	純資産合計	34,495,568
		負債及び純資産合計	60,000,611

*出力条件
*会計年度：R4
*出力帳票選択：財務書類
*団体区分：連結
*団体／会計コード：
*出力範囲：年次
*出力金額単位：千円

行政コスト計算書

自 令和4年4月1日
至 令和5年3月31日

(単位:千円)

科目	金額
経常費用	17,232,235
業務費用	7,507,583
人件費	2,310,213
職員給与費	1,817,007
賞与等引当金繰入額	141,150
退職手当引当金繰入額	43,401
その他	308,655
物件費等	4,919,684
物件費	2,833,281
維持補修費	82,391
減価償却費	2,001,684
その他	2,328
その他の業務費用	277,685
支払利息	105,001
徴収不能引当金繰入額	7,967
その他	164,718
移転費用	9,724,652
補助金等	5,404,159
社会保障給付	4,297,616
他会計への繰出金	-
その他	22,876
経常収益	986,889
使用料及び手数料	508,376
その他	478,513
純経常行政コスト	△ 16,245,346
臨時損失	32,070
災害復旧事業費	-
資産除売却損	31,851
投資損失引当金繰入額	-
損失補償等引当金繰入額	-
その他	220
臨時利益	14,868
資産売却益	14,868
その他	-
純行政コスト	△ 16,262,548

*出力条件
*会計年度：R4
*出力帳票選択：財務書類
*団体区分：連結
*団体／会計コード：
*出力範囲：年次
*出力金額単位：千円

純資産変動計算書

自 令和4年4月1日
至 令和5年3月31日

(単位:千円)

科目	合計	固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)
前年度末純資産残高	34,036,279	59,066,153	△ 25,029,874
純行政コスト(△)	△ 16,262,548		△ 16,262,548
財源	16,645,548		16,645,548
税金等	10,372,760		10,372,760
国県等補助金	6,272,788		6,272,788
本年度差額	383,000		383,000
固定資産等の変動(内部変動)		△ 1,131,300	1,131,300
有形固定資産等の増加		1,197,360	△ 1,197,360
有形固定資産等の減少		△ 2,379,480	2,379,480
貸付金・基金等の増加		749,496	△ 749,496
貸付金・基金等の減少		△ 698,677	698,677
資産評価差額	32,852	32,852	
無償所管換等	39,887	39,887	
比例連結割合変更に伴う差額	3,527	9,066	△ 5,540
その他	23	22	0
本年度純資産変動額	459,289	△ 1,049,472	1,508,761
本年度末純資産残高	34,495,568	58,016,681	△ 23,521,113

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

*出力条件
 *会計年度：R4
 *出力帳票選択：財務書類
 *団体区分：連結
 *団体／会計コード：
 *出力範囲：年次
 *出力金額単位：千円

資金収支計算書

自 令和4年4月1日
 至 令和5年3月31日

(単位:千円)

科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	15,323,856
業務費用支出	5,599,226
人件費支出	2,302,179
物件費等支出	2,931,221
支払利息支出	105,001
その他の支出	260,825
移転費用支出	9,724,630
補助金等支出	5,404,159
社会保障給付支出	4,297,609
他会計への繰出支出	0
その他の支出	22,862
業務収入	17,234,412
税収等収入	10,273,573
国県等補助金収入	6,023,622
使用料及び手数料収入	504,413
その他の収入	432,804
臨時支出	220
災害復旧事業費支出	0
その他の支出	220
臨時収入	5,262
業務活動収支	1,915,598
【投資活動収支】	
投資活動支出	1,826,254
公共施設等整備費支出	986,290
基金積立金支出	839,965
投資及び出資金支出	0
貸付金支出	0
その他の支出	0
投資活動収入	1,093,359
国県等補助金収入	195,910
基金取崩収入	764,935
貸付金元金回収収入	1,254
資産売却収入	112,843
その他の収入	18,416
投資活動収支	△ 732,895
【財務活動収支】	
財務活動支出	1,907,486
地方債償還支出	1,903,443
その他の支出	4,043
財務活動収入	875,402
地方債発行収入	842,403
その他の収入	33,000
財務活動収支	△ 1,032,084
本年度資金収支額	150,619
前年度末資金残高	1,697,865
比例連結割合変更に伴う差額	△ 1,765
本年度末資金残高	1,846,719
前年度末歳計外現金残高	17,004
本年度歳計外現金増減額	△ 263
本年度末歳計外現金残高	16,741
本年度末現金預金残高	1,863,460

《注記》

1. 重要な会計方針

(1) 有形固定資産等の評価基準及び評価方法

① 有形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア 昭和 59 年度以前に取得したもの……………再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額 1 円としています。

イ 昭和 60 年度以後に取得したもの

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額 1 円としています。

② 無形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

(2) 有価証券等の評価基準及び評価方法

① 満期保有目的有価証券

該当なし

② 満期保有目的以外の有価証券

ア 市場価格のあるもの……………会計年度末における市場価格(売却原価は移動平均法により算定)

イ 市場価格のないもの……………取得原価(又は償却原価法(定額法))

③ 出資金

ア 市場価格のあるもの……………会計年度末における市場価格(売却原価は移動平均法により算定)

イ 市場価格のないもの……………出資金額

(3) 有形固定資産等の減価償却の方法

① 有形固定資産(リース資産を除きます。)……………定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建物 24 年～50 年

工作物 10 年～50 年

物品 3 年～20 年

② 無形固定資産(リース資産を除きます。)……………定額法

③ 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産(リース期間が 1 年以内のリース取引及びリース契約 1 件あたりのリース料総額が 300 万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。)

……………自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法

(4) 引当金の計上基準及び算定方法

① 投資損失引当金

市場価格のない投資及び出資金のうち、連結対象団体(会計)に対するものについて、実質価額が著しく低下した場合における実質価額と取得価額との差額を計上します。今回は計上していません。

② 徴収不能引当金

未収金については、過去5年間の平均不納欠損率により(又は個別に回収可能性を検討し)、徴収不能見込額を計上します。

長期延滞債権については、過去5年間の平均不納欠損率により(又は個別に回収可能性を検討し)、徴収不能見込額を計上しています。

長期貸付金については、過去5年間の平均不納欠損率により(又は個別に回収可能性を検討し)、徴収不能見込額を計上しています。

③ 退職手当引当金

退職手当債務から組合への加入時以降の負担金の累計額から既に職員に対し退職手当として支給された額の総額を控除した額に、組合における積立金額の運用益のうちかつらぎ町へ按分される額を加算した額を控除した額を計上しています。

④ 損失補償等引当金

履行すべき額が確定していない損失補償債務等のうち、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に規定する将来負担比率の算定に含めた将来負担額を計上します。今回は計上していません。

⑤ 賞与等引当金

翌年度6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

(5) リース取引の処理方法

① ファイナンス・リース取引

ア 所有権移転ファイナンス・リース取引(リース期間が1年以内のリース取引及びリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。)

……………通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

イ ア以外のファイナンス・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

② オペレーティング・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(6) 全体資金収支計算書における資金の範囲

現金(手許現金及び要求払預金)及び現金同等物

なお、現金及び現金同等物には、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含んでいます。

(7) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

ただし、水道事業会計及び下水道事業会計については、税抜方式によっています。

(8) 連結対象団体(会計)の決算日が一般会計等と異なる場合の処理

決算日と連結決算日の差異が3か月を超えない連結対象団体については当該連結対象団体の決算を基礎として連結手続を行っています。

2. 重要な会計方針の変更等

該当なし

3. 重要な後発事象

(1) 主要な業務の改廃

該当なし

4. 偶発債務

該当なし

5. 追加情報

(1) 連結対象会計

会 計 名	区 分	連結方法
一般会計	—	—
各特別会計	公営事業会計・公営企業会計	—
橋本周辺広域市町村圏組合	一部事務組合・広域連合	比例連結 18.30%
伊都消防組合	〃	比例連結 46.45%
橋本伊都衛生施設組合	〃	比例連結 26.37%
伊都郡町村及び橋本市老人福祉施設事務組合(一般会計)	〃	比例連結 20.13%
伊都郡町村及び橋本市老人福祉施設事務組合(特別会計)	〃	比例連結 20.13%
伊都郡町村及び橋本市児童福祉施設事務組合	〃	比例連結 14.12%
和歌山県市町村総合事務組合(町村議会議員公務災害補償分)	〃	比例連結 3.53%
和歌山県市町村総合事務組合(非常勤公務災害補償分)	〃	比例連結 3.07%
和歌山県市町村総合事務組合(学校医公務災害補償分)	〃	比例連結 3.97%
和歌山県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	〃	比例連結 2.06%
和歌山県後期高齢者医療広域連合(特別会計)	〃	比例連結 2.16%
和歌山県地方税回収機構	〃	比例連結 1.86%
かつらぎ町社会福祉協議会	第3セクター	全部連結

特別会計は、すべて全部連結の対象としています。

(2) 地方自治法第 235 条の 5 に基づき出納整理期間が設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

(3) 各項目の金額千円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合があります。

(4) 売却可能資産に係る資産科目別の金額及びその範囲

すべての普通財産(令和 6 年 3 月 31 日時点の簿価)

土地 612,451 千円

建物 96,652 千円

(5) 減価償却累計額

事業用資産／建物 15,427,895 千円

事業用資産／工作物 1,515,831 千円

インフラ資産／建物	252,896 千円
インフラ資産／工作物	34,850,563 千円
物品	2,971,409 千円